

水島協同病院

倉敷市水島南春日町1-1
代表 086-444-3211
外來 086-444-1222



「信頼の病院」マーク
ISO9001 認証取得

水島協同病院 だより

No. 365
2024. 12月号



水協のホーム
ページもご覧
ください

<https://www.mizukyo.jp>

【病院理念】 いつでも、だれもが、安心してかかれる医療を追求します。

水島協同病院では無料・低額診療事業を行っています

9月下旬から約2カ月にわたる工事を経て、フィリップス社製 Ingenia Ambition 1.5T という高画質化と検査の短時間化、患者さんの快適性を同時に実現したMRI装置にリニューアルしました。
新しい装置では、最新のAI技術を搭載し、以前より高精細な画像が得られるようになり、病気の早期発見や的確な治療につながります。また、MRIの苦手分野であった骨の情報もわかりやすくなりました。
MRI検査は放射線被曝のない



新しいMRI装置のイメージ写真

新しいMRIのご紹介 11月より最新のMRI装置を導入しました

身体に優しい検査ですが、撮像時間が長い、狭い、音がうるさいなどの問題もありました。今回のMRIでは、ガントリと呼ばれる身体を入れる範囲が以前より10cmほどワイドになり、圧迫感による負担を減らしています。また、寝台のマットもドイツの寝具メーカーとのコラボにより、他社とは比較にならない寝心地の良さとなっています。音の大きさは変わらないのでご了承ください。

ちなみに、通常MRIでは高磁場を発生させるために1500リットル以上の大量の液体ヘリウムが必要です。新しい装置では、液体ヘリウムがわずか7リットルしか使用されておらず、安全で環境に優しい装置となっています。

新しいMRIにより、これまでより質の高い検査を受けていただけます。ご質問などあればお気軽に放射線科スタッフまでお尋ねください。

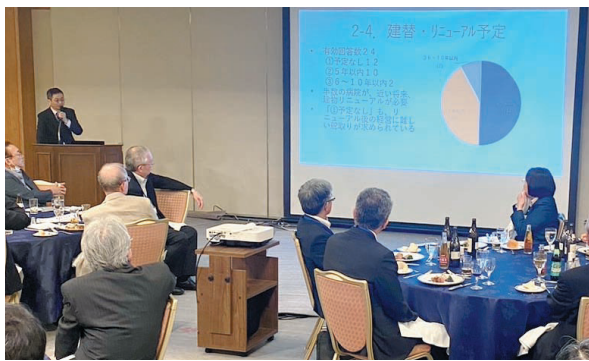
(放射線・MRI科 瀬尾勝正)

MRI検査とは？
放射線科で受ける検査のひとつで、体の様々な部分を鮮明に画像化できる検査。主に脳梗塞やがん、ヘルニアなどの発見や治療のために行われます。

参加者の共感得る

～第19回倉敷圏域病院長の集いにて報告しました～

9月25日、第19回倉敷圏域病院長の集いが開催され、37病院のうち32病院から47名の院長歴々が参加、伊東香織倉敷市長、



話に耳を傾ける倉敷市長(右端)



多くの参加者の前で発表する
亀山事務長

「思っていたことを言語化してもらった」「病院の苦境を、市や市民に知らせていく必要がある」など、感想が出されました。

倉敷連合医師会長、倉敷市保健所長ら来賓を含め57名が集い、情報交換や懇談を行いました。
今回は議題の中に、病院協会倉敷支部が行った「経営アンケート結果報告」が組み込まれ、水島協同病院の亀山事務長からプレゼンテーションがありました。市内の病院の多くが経営的な困難と人材確保の困難を抱えていることが報告され、参加者の共感を呼びました。会場からは、「思っていたことを言語化してもらった」「病院の苦境を、市や市民に知らせていく必要がある」など、感想が出されました。

マグネット搬入の様子

- 2 t強の重さのあるマグネットがクレーンで吊り上げられています
- ジャッキで病院搬入口の高さにあげていきます
- MRI検査室に運ばれるマグネット
- 3時間ほどかけて無事到着！
出資金にご協力ください